

令和6年度 弘前市総合教育会議

資 料

日時：令和7年1月30日（木）

午後3時00分から

場所：岩木庁舎2階 多目的ホール

■ 協議事項

「郷土を愛する心を醸成するためには～地域の特色ある文化財の活用～」

当市は弘前城をはじめ、多くの文化財を有する東北屈指の文化都市です。

文化財には、国や県、市が指定した文化財だけではなく、広い意味で地域の歴史や文化、風習、祭り、伝統的な遊びや工芸なども含まれ、地域の特色を形成しています。しかし、子どもたちにとっては身近すぎて当たり前になっており、大人を含めその魅力に気づいていない人が多く、学校においても活用状況に差がある現状にあります。

郷土を大切にし、将来の弘前を支え創る人材の育成を目指すためには、地域の歴史や文化等を理解し、主体性や探究心を持って学ぶことが大切になります。次世代を担う小・中学生に地域の特色ある文化財を題材とする学びを通して、その魅力や価値に気付かせ、まずは興味の入り口に立ってもらうきっかけづくりのために、教育委員会としてできる取組について協議します。

《課題》

- ・どこの地域にも歴史・文化・風習等はあるものの、魅力や価値あるものとしての認識が不足している。
- ・市の事業を活用する学校が固定化しており、新規参加校が増えない。
- ・子どもたちの興味や関心を引き出すための工夫した取組が必要な学校もある。

《協議の視点》

- ①地域の特色ある文化財の活用
- ②市事業を活用する学校の固定化からの脱却

《小中学生を対象としたこれまでの取組》

事業等	実施年度	事業概要
文化財マップ事業 (文化財課)	H24～R3	小学校学区内の文化財を紹介するマップを作製。延25校参加
堀越城跡 (文化財課)	H26～	堀越小学校体験学習(出前講座、城内見学ツアー)
大森勝山遺跡 (文化財課)	H26～	大森勝山じょうもん祭り(裾野小・中学校はよさこいで参加)
	H27～	ちびっこ縄文講座(H30～裾野小5・6年の出前講座に変更) (市職員による解説、現地見学、土器づくり、隔年で地域の文化財見学を実施)
史跡見学会 (文化財課)	R4～	小学校対象。バスを借上げし大森勝山遺跡、弘前城跡、堀越城跡のいずれかを見学。 年約20校参加
出前講座 (文化財課)	—	「郷土の魅力再発見!弘前の文化財」(低学年向けにクイズ形式)
		「北海道・北東北の縄文遺跡群」
伝統文化学習講座 (中央公民館岩木館)	H7～	岩木地区の小・中学校(岩木小・津軽中・常盤野小中)に地域の講師を派遣し、郷土の伝統工芸や伝統芸能等の体験学習を行う。 (登山囃子、津軽三味線、ねぶた絵、こぎん刺し、あけびづる細工、郷土料理)
ひろさき記学事業 (学校指導課)	H30～	「弘前が大好きで、夢に向かってチャレンジする子」の育成を目指し、郷土「弘前」の歴史や文化を学習できるよう補助資料の冊子を作成(毎年新小学校3年生に配布)、クイズ「チャレンジ記」の実施
未来をつくる 子ども育成事業 (学校指導課)	R2～	社会の変化に主体的に対応する「生きる力」を身に付けた子どもの育成に向け、各校が地域の特色を生かして体験活動など行うための経費を支援するもの。 (ねぶた、獅子舞、りんご等)
3館連携 学校観覧事業 (博物館)	R2～	小・中学校対象。博物館、高岡の森歴史館、れんが倉庫美術館(R4より追加)を巡る際、市所有バス等を手配し、学校の費用負担を無料とする事業。 年平均4校参加

※表中、太字については別添資料参照。

以 上

文化財マップ事業～作例紹介～

事業内容：市内の児童を対象に、地元学区にある文化財や遺跡を、実際に見て・聞いて・触れることで価値を知ってもらい、地域の歴史と文化に愛着を持ってもらうことを目的とし、その成果として作成した文化財マップ・壁新聞を作成してもらうものです。

平成24年度から令和3年度の事業実施期間中、延べ25校が参加しています。

令和3年度 西小学校（児童27人が1人1枚ずつ作成したものを抜粋）

弘前文化財マップ

①長勝寺

このお寺は、1529年に大浦重富はおうとうもりの心が、父の先信のほかにとらったために、創建されたお寺です。そして、現在のあしがわ町から、弘前市に移された。本堂に入ると、津重家縁がまつられてる。また、弘前城のうらさもんちんこの役所だけでなく、長勝寺を中心とした藩政された榊林御全体が、弘前城の出城の機能を保持しています。

昭和11年に国指定重要文化財とされた。高さ16m、円柱を一層から、二層までの通し柱としている。199年、大きな改修が行われ、仁王像を置くなどの改修が行われた。画像で見るより、実際に見た方が、昔の建物の力加をのびのびと感ずる。

弘前城は、何度も場所を変えていて、平成27年に天守をひきや（ひきやとは、城を大築せし、げり、城を動かすこと）平成28～30年で、石垣の修復完了。令和2年から、積極的工事を開始。このように何度も場所を変えている。

（門）追手門からは、65cmの深さから、江戸時代の地層が発見されている。また、その上層からは、昭和19年に設置された、コンクリート基礎があり、歴史の重層が浮き出てくる。青森の代表レキの城、このようにその深さ歴史を見い知ることができて、サッと見ても感じます。

明治31年（1900年）に完成した、第五十九銀行本店の建物である。くりに見えるが、木材を使用し、建てられた。中央の入口や、正面屋根に突き出た部分などに、アーチ状のデザインを施している。そして、中央の窓には、木をくりこんで入りこめたり、土戸を使用するなどの防犯機能になっている。また、この江佐（江佐）をささがる霧が、さくといわれるほど、きれいな理子になっている。また、天井の金澤草紙、けりぎのくわんぐらなど、いままでは、毎し入らない、高価な材料をたくさん使った、じょうぶな建物です。中には、白い柱やうでんにありそうなのが、それも木を使っている。それと、木をくりこんで、同じように作れる人は、いないので、それと、木をくりこんで、同じように作れる人は、いないので、（昔の大きな建物、実際に見ると、石に見えるけど、木がくりこんで、昔の建物の技術がわかる。

②弘前城（門）

このお寺は、1529年に大浦重富はおうとうもりの心が、父の先信のほかにとらったために、創建されたお寺です。そして、現在のあしがわ町から、弘前市に移された。本堂に入ると、津重家縁がまつられてる。また、弘前城のうらさもんちんこの役所だけでなく、長勝寺を中心とした藩政された榊林御全体が、弘前城の出城の機能を保持しています。

昭和11年に国指定重要文化財とされた。高さ16m、円柱を一層から、二層までの通し柱としている。199年、大きな改修が行われ、仁王像を置くなどの改修が行われた。画像で見るより、実際に見た方が、昔の建物の力加をのびのびと感ずる。

弘前城は、何度も場所を変えていて、平成27年に天守をひきや（ひきやとは、城を大築せし、げり、城を動かすこと）平成28～30年で、石垣の修復完了。令和2年から、積極的工事を開始。このように何度も場所を変えている。

（門）追手門からは、65cmの深さから、江戸時代の地層が発見されている。また、その上層からは、昭和19年に設置された、コンクリート基礎があり、歴史の重層が浮き出てくる。青森の代表レキの城、このようにその深さ歴史を見い知ることができて、サッと見ても感じます。

明治31年（1900年）に完成した、第五十九銀行本店の建物である。くりに見えるが、木材を使用し、建てられた。中央の入口や、正面屋根に突き出た部分などに、アーチ状のデザインを施している。そして、中央の窓には、木をくりこんで入りこめたり、土戸を使用するなどの防犯機能になっている。また、この江佐（江佐）をささがる霧が、さくといわれるほど、きれいな理子になっている。また、天井の金澤草紙、けりぎのくわんぐらなど、いままでは、毎し入らない、高価な材料をたくさん使った、じょうぶな建物です。中には、白い柱やうでんにありそうなのが、それも木を使っている。それと、木をくりこんで、同じように作れる人は、いないので、（昔の大きな建物、実際に見ると、石に見えるけど、木がくりこんで、昔の建物の技術がわかる。

③青森銀行記念館

明治31年（1900年）に完成した、第五十九銀行本店の建物である。くりに見えるが、木材を使用し、建てられた。中央の入口や、正面屋根に突き出た部分などに、アーチ状のデザインを施している。そして、中央の窓には、木をくりこんで入りこめたり、土戸を使用するなどの防犯機能になっている。また、この江佐（江佐）をささがる霧が、さくといわれるほど、きれいな理子になっている。また、天井の金澤草紙、けりぎのくわんぐらなど、いままでは、毎し入らない、高価な材料をたくさん使った、じょうぶな建物です。中には、白い柱やうでんにありそうなのが、それも木を使っている。それと、木をくりこんで、同じように作れる人は、いないので、（昔の大きな建物、実際に見ると、石に見えるけど、木がくりこんで、昔の建物の技術がわかる。

令和3年度 大和沢小学校（一部抜粋）

大和沢小学校学区文化財MAP

1. 整の菓遺跡

遺跡は農道の工事の際に発見されました。縄文時代後期(4000年前)のムラの跡です。遺構は、竪穴建物跡が1軒、土坑が6基、ピット(穴)が4基見つかっています。遺物は、土器と石器が出土しています。

- さわらせてもらった土器は軽かったです。
- 土器には匙鼻とかがあっていました。
- 遺跡は約50mほり出てくる砂です。
- 自分の家の庭をほってかいた土器や土偶がなくなりました。

5. 大和沢田遺跡

遺跡は昭和36年の分布調査の際に発見されました。縄文時代後期(4000年前)の土器が見つかっています。大和沢と一野渡の境界に位置し、東側には山神神社が西側の丘陵上には大和沢館があります。

2. 狼森保健館と碧松園

建物は昭和26年に完成しました。当時、鳴海病院の院長であった鳴康仲氏が、地域の無医寸月亭前運動の一環として建てました。それ以降、狼森は農村衛生のモデル地区として、日本中に名が知られています。

碧松園は大石武学流6代宗家外崎亭陽の作昭和5年に完成した庭園で、大石武学流とは、江戸時代末期から現在まで津軽地方一円にわたる庭園の流派で、瑞楽園などの名勝に指定されている庭園もあります。ほかにも高陽の作有名な庭には、弘前城植物園見本庭園があります。

出前講座事業「郷土の魅力再発見！弘前の文化財」 ～内容紹介～

出前講座とは：市民の皆さんが気になっている市の制度や取り組みなど、市政の情報を積極的に提供して市政へのご理解をいただくとともに、市政についてともに考え、参加していただくことを目的としています。市民の皆さんが自主的に開催する学習会などに、市の職員を派遣する制度です。

「郷土の魅力再発見！弘前の文化財」講座では小学校低学年向けにクイズ形式で地域の文化財を紹介しています。



弘前市出前講座
「郷土の魅力再発見
弘前の文化財」
三大なかよし会
令和6年7月23日 10:30～
弘前市教育委員会文化財課
主査 棟方 隆仁

市役所の文化財課の仕事は、文化財というお宝になっている、お寺や神社、古い絵や刀、古い木、珍しい動物、おまつりなどが無くならないように守る仕事です。

第2問

じょうもんじだい
って聞いたことある？



弘前には世界いさんに指定されているいせきがありますが、ここは石がたくさん並んでいることで有名です。
どのように石が並んでいるでしょう。

- ①△に並んでいる
- ②□に並んでいる
- ③○に並んでいる

正解 ③○に並んでいる



こういう石の並びをストーンサークルといいます。
約3000年前の縄文人がお祭などに使っていたと考えられています。
縄文時代を代表するいせき。

第10問

三大学区の有名な
神社といえば？



貴船神社 通称：神社公園

神社は神様のお家です。

では、貴船神社には何の
神様が住んでいるでしょ
う？

- ①お水
- ②お米
- ③りんご

正解 ①お水

京都の貴船神社を中
心に、全国に約50
0社があります。
京都の貴船神社は水
でぬらすおみくじが
有名です。



結果発表！



10問中何問できましたか？

- 0問～3問 頑張ったで賞
- 4問～6問 なかなかやるで賞
- 7問～9問 ビックリしたで賞
- 全問正解 マジですごいで賞

未来をつくるこども育成事業～事例紹介～

事業内容：社会の変化に主体的に対応する「生きる力」を身に付けた子どもの育成に向け、各校が地域の特色を生かして体験活動などを行うための経費を支援するものです。

■ 取組事例①

裾野中学校：地域を思う人づくり事業



「地域社会体験学習③」3学年(9/29)
三内丸山遺跡を見学し、大森勝山遺跡との比較や、今後の遺跡活用について考察と提言を行った。



大森勝山じょうもん祭り来場記念キーホルダーを作成した。当日はよさこいの演舞と祭の手伝いをし、地域に貢献することができた。

■ 取組事例②

北小学校：弘前の良さを探して発信！1人1台端末を活用したひろさき市学史跡見学を通して



「自主見学の学習」(10月25日)
・長勝寺は、とても大きな入口があった。「三尊仏」があり、違う効果があるらしい。



「自主見学の学習」(10月25日)
・護国神社は、箱館戦争の戦没者慰霊のために建てられました。

■ ねぶたの取組事例（R5：8校、R6（計画）：11校で実施）

第三大成小学校：郷土弘前に関する地域の資源を活用した資質・能力の育成



「オリエンテーション」（6月11日）
 ・ねぶた絵師 山内崇高さんねぶたへの思い
 ・ねぶた絵完成までの過程などの説明



「下絵～墨描き～蠟描き」（6月18、25日）
 ・崇高さんの指導で蠟描きまで完成
 ・保護者や地域の方々が手伝ってくれました。



ねぶた絵師 山内 崇高 氏



「色塗り」（7月2日）
 ・仕上げの色塗り。ぼたんぼけの使い方や色のぼかし方を崇高さんに教えてもらいました。
 ・実際にねぶた絵を制作したことで地域の人とつながりなど、多くの気づきがありました。



「学習発表会」（10月19日）
 ・崇高さんの指導で制作したねぶた絵で、灯籠づくりも行いました。
 ・ねぶた笛、手振り鉦、太鼓のお囃子と「ヤーヤドー」のかけ声、本格的なねぶた運行を学習発表会で披露することができました。